



講師の説明を熱心に聞く
花緑ボランティアリーダー

答 農産物のPRは農業関係団体等と連携し、平成20年度は東京、札幌等で試食販売等を実施する。農産物のブランド化の推進により、競争上有利な販売を実現し、農家の所得を向上させ、農家の生産・販売意欲の向上や後継者の確保、魅力ある地域づくりにつ

ながることを目標として取り組む。

都市緑化おかやまフェア

ボランティア

問 全国都市緑化おかやまフェアのボランティアを緑化推進リーダーとしては。

答 「花

緑ボランティアリーダー」や西大寺の市民応援団、西川緑道公園での市民提案事業への参加者など、新たなボランティア組織ができてきた。フェア終了後には、この人材を有効に活用して、さまざまな緑化推

進事業の展開が図れるような、新しいシステムづくりにつながる。

医療・福祉



金川病院の今後の方向性

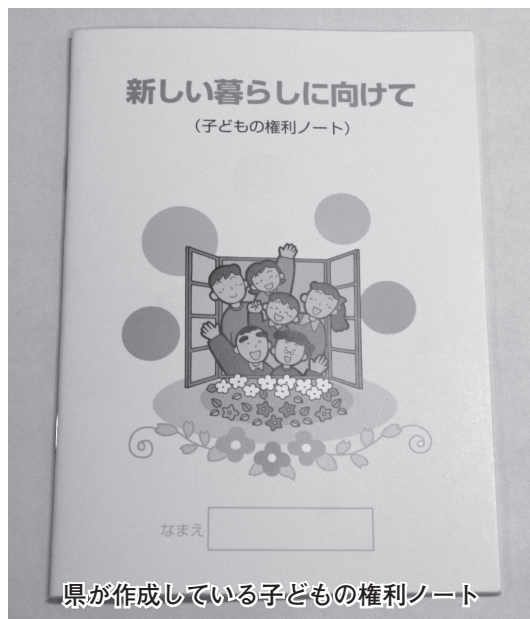
問 金川病院の運営に関する国立病院機構岡山医療センターとの話し合いの進行状況は。

答 平成20年2月以降金川病院の運営の可能性について岡山医療センターと協議を行ってきたが、5月末以降は国立病院機構本部および岡山県にもこの協議に加わってもらいながら、実現に向けた働きかけを強めている。今後は地元住民の意向を踏まえ、金川病院の運営について受諾してもらえるよう協議を進めていきたい。

子どもの権利ノートの作成

問 児童相談所開設に伴う「子どもの権利ノート」の作成は。

答 子どもの権利ノートは、児童福祉施設等に入所する子どもたちに自分の権利について理解してもらうために作成するもので、子どもの権利擁護に果たす役割は大きい。市としても児童相談所の開設に伴い、独自の子どもの権利ノートを作成し、配布する予定だ。児童にとって分かりやすく不安を解消できるように権利ノートとなるよう、現在調査・研究をしている。



県が作成している子どもの権利ノート

児童相談所の職員体制

問 平成21年度に開設する児童相談所には、経験を積んだ職員が不可欠だが、体制はどうなるのか。

答 20年度、県中央児童相談所へ専門職二十七名を派遣し、県の担当者にマンツーマンで業務の指導を受けるなど、児童相談所職員として必要な専門知識や技能・態度などの習得に向けた研修を行っている。開設後当分の間、職員の経験不足が否めないことから、教育・訓練・指導ができる知識・経験豊富な職員の派遣を県に要望している。

子育てヘルパー

問 幾つかの政令市で実施されている子育てヘルパー事業